

特定非営利活動法人  
福山市身体障害者団体連合会

第38号

# 福山市身連通信

2020 (R. 2) 年 4月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会  
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会  
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

## 目 次

新年度活動予定	ハートフル芸術・文化祭二	ハートフル芸術・文化祭一	新体育館 検証見学会二 身障全国大会広島開催	新体育館 検証見学会一
5	4	3	2	1

障害者全般の利用者に対し

# 新総合体育館検証見学会

日時 令和二年二月二十二日(水)  
場所 エフピコアリーナふくやま

戦後の福山市の発展に大きく貢献したと言われる福山競馬は当初はファンも多く、その収入は福山市の施設等の建設に大変役立つと聞いていますが、その後種々のレジャーが出てきて地方競馬は徐々に衰退し、市から補助を受けるお荷物になり廃止となりました。

その跡地は競馬場と関連施設でけっこう広大でその利用についていろいろ検討されて、スポーツ・健康ゾーン、未来創造ゾーン、やすらぎゾーンに区分けして計画が作られてきたようですが、先ずスポーツゾーンに建設されていた総合体育館が昨年末に完成しました。まだ中の設備等の工事は続いているようですが、この施設の説明会が市内のスポーツ団体等に行われ

ていて、この度我々障害者にも設備の見学会を実施しますので参加されるよう案内がありました。

一月二十二日、まだ開業されて居らず普段閉められている入場口を開けてもらっており、案内に従って駐車場に入ると体育館をぐるりと回るように駐車場があり、その中に4ヶ所ほど障害者駐車場の指

定がされて何台かの車を駐めるようになっていて、その一部は屋根付きで雨天でも濡れずに入館できるようになっていました。

当日は連合会を初め障害者スポーツ団体等に案内があり約四十名ほどの参加者がありました。

事業団の課長の挨拶後体育館の概要についてと今日の行程について説明があつて、先ずメインアリーナ側の中のトレーニンングルーム、スタジオ等を見学、その通路沿いの更衣室、トイレ等の説明を聞きました。そしてバスケット、バレー、

バドミントン等の公認競技のできるメインアリーナの観客席になる2階に上がり、内部を見ました。この固定席は二千百席ほどあり他に中央にむけて移動できる可動席も九百席あつて行事によって利用できます。

最近大会などで行くとき新しい施設には木材を使用した建築が非常に多く見られますが、ここも観客席や天井に木材を使っ



てあり、何か優しさを感じるようでしたが、これまで体育館では天井から下ろせるバスケットが見えていたりしますが、今何もなくどこから出るのか不思議に思いました。そしてサブアリーナとの間から屋外に出て、以前の検討会で希望していた盲導犬のトイレを階段下の場所に整備してもらったのを確認出来ました。その後屋内に戻りサブアリーナ 次ページへ

(前頁見学会続き) サブアリーナ側に入り一階にある柔道場や二階の剣道場なども見て回りました。見学後、元のラウンジに戻り質問があればと言われ、二階に上がる階段のように観客席の通路にも手すりがないと質問が出ましたが、あれば安全とは思いますがそれをする通路の幅を規定以上に広げることになり、席が半減し、元々



大きなホールでもマツダスタジアムでも通路に手すりはなく、体育施設をオール障害者仕様にしろというのはいき過ぎと思われま

す。跡地利用では最初にJ Aが土地を利用して東南部に生鮮食品市場を開店して賑わっていますが、市の施設としては体育館が最初に完成して新年度から利用できることになるようです。体育館の前の広場等は今一部の遊具等が準備されていますが、まだ全く未完成ですから、そちらから自由に入りできるのはこの段階ではまだわかりません。

着工から障害者とのコミュニケーション、聴覚障害者に非常事態を知らせるための非常灯の点滅とか、閉所恐怖症の人がエレベーターでパニックにならないように強化ガラスで外が見えるようにするなど可能な限り配慮されている面を見ることが出来たと思います。特に体育施設で盲導犬のトイレが設備として出来たのもしかして日本で初めてかもしれませんか・・・

## 今年も広島で開催です

### 第六五回日本障害者福祉大会 ひろしま大会 六月開催

新年度になりますと日本はオリンピック・パラリンピックが一大行事なので夏に向けてその話で持ちきりになると思いますが、私

人が増えて、そのため参加できない人と、逆にゆつくりとできるの旅行を毎年楽しみに待っている人と大きく分かれるようです。

中には障害者団体の一大事業である「日本身体障害者福祉大会」が広島県で五二年ぶりに開催されることになっています。

今年はこちらの事情と違って広島で広島市身連と広島県身連共催で広島市の広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)で開催されることになっていて、昨年来この準備が進められています。

全国大会ということですから毎年全国各地のどこかの県で開催され、東北であったり、九州、四国であったりとその場所によって参加費用が大きく違い、以前は福山で団体を組んで参加していましたが最近では人数が足りなく独自のツアーを組んで参加することが出来なくな

って、遠方である大会にはもっぱら県身連の募集する団体に応募して参加しています。

昨年も東北秋田での開催で県身連のツアーは四日間の日程で募集され福山市身連の会員は六名程が参

加しましたが、費用もそうですが何日も家を空けることができな

らなっています。

広島での大会が盛会となるよう県内各地区にも多数の参加を求められていて、福山市身連も出来るだけ協力していきたいと思

います。

会員の皆様多数の参加、ご協力をお願いいたします。

福山市身体障害者団体連合会

# ハートフル芸術・文化祭

令和二年二月二十三日 十時  
福山市人権交流センターホール

来賓者 顧問 広島県議会議員 まとば豊 様  
顧問 福山市議会議員 法木昭一様夫人  
参加者 会員 62名 楽器演奏 5グループ  
カラオケ出演 21名  
展示作品 写真7名(15作品)  
川柳3名 手芸2名 絵画1名  
ボランティア (総員 10何名ほど)  
ふれあいの会 ガイドヘルパー  
要約筆記「さんりん車」

このところ連合会としては大きな活動として定着しつつある「芸術・文化祭」を今年度も年末頃から参加案内をして、今回は二月に会場の予約が取れましたので寒い時期ですが、その日に決定し開催しました。

連合会として難しいのは障害の異なる人たちの連合なので、十二月に開催したスポーツ活動にはろうあ協会員多数の参加がありました。が、今回の文化活動には視覚協会員の人が全体の半数になる参加申し込みがありました。が、ろうあの方は写真展示参加の一名ほどと参加者の偏りがあるのはどうしようもない現実のようです。

しかし今年も写真や川柳、手芸



等の展示にも、楽器演奏等の出演もしっかり応募がありました。その心配はなく、人権学習も織り込んでプログラムが出来るようになりました。

担当部門と事務局でこの準備に当たりますが、事務次長は入院中で昨年と同じくプログラムから参加の準備も根本夫妻にお世話がかかることになりました。

そして行事の全体像が見えるようになった頃、世の中はコロナウィルス一色になり連日テレビなど報道は新型ウィルスのことばかりとなつて、日本では最初はクルーズ船のことが報道の中心でしたが、元々発生源の武漢の市民が春節の休みで五〇〇万人も全世界に出かけており、その行先に日本も当然含まれており、二月に入って日本のあちこちで感染源の不明な患者が出るようになって、行政関係でも民間会社も各地から集まる集いや大会等が中止や延期と報道されるようになりました。

そこで我々の文化祭もやるのか、中止かと問い合わせの電話があるようになり、今のところ広島県に感染者はなく福山の会員のみの集まりなので予定通り開催しますとお答えして、会場入口に消毒用品を用意して入場者には消毒をして参加してもらつたことになりました。当日は寒くはありますが快晴というような天気で来場には何の問題もありませんでしたが、前日の会場の準備中にも本人とか家族が転倒して

(次頁に続く)

(前頁文化祭続き)

転倒して行けなくなると連絡が入り、その中には午前中の楽器演奏の出演者もいて、事務局はその代わりの出演者を探して出演依頼をしたりと安心する時間はない状態でした。

一名の参加者が少し遅れると連絡以外参加者が揃って開催時間となり、理事長が開会の挨拶をして次の会合予定との合間に出席してもらったまとは顧問に挨拶してもらい即退席されて、続いてこれも四月の市議会議員の改選で忙しく動いておられる法木顧問の代理で夫人が出席されての挨拶をいただき、プログラムに入りました。

最初に予定していた人権学習のため前日スクリーンを借用してセツトしプロジェクト等用意していましたが、いざとなってDVDがうまく再生できず、やむ終えずこれを割愛して次の楽器演奏に移りました。

その中でも予定の演奏に加えて、時間が余りますのでもう一曲余分にお願いますと言われ、まだ練習中なんだけと言いながらも上手に演奏されて拍手喝采となる。

ともありました。

例のごとく今年もトップバッターは江草さんのハーモニカ独奏から始まり、視覚の女性たちが主力のグループのハーモニカ、オカリナそしてトワイジュアンサンブルの大正琴の演奏で参加者たちも歌詞を口ずさみながら聞いて、ト리는根本さんの口笛はちょっと調子が良くないとハーモニカ演奏で午前中のプログラムを終わりました。



少し早めに昼休憩に入り、弁当タイムとなりましたが、午後もし早めに開始することを決めて弁当を会議室等でそれぞれ食べてもらいました。

午後最初のプログラムはカラオケで、二〇名程が曲名を申告して、音声さんが前日から準備してくれていますから、順調に進み誰もみんな日頃から歌いこまれていると思う上手さで、また曲目も筆者などは初めて聞く、尾道や福山、三次を歌った曲を聞かせても

らいました。最後を大正琴の講師をされていると聞いた藤井妙子さんがしめてカラオケをおわり最後はこれも恒例になったビンゴゲームとなりました。

今回はふれあいの会からの提供で二千元、一千元、五百円の商品券を参加賞の中にアトラダムに入れて、ビンゴになった人から自分で自身の見えない袋を選んでもらおうことにしていて、運良く当たった人は大喜びの盛り上がりになりました。

閉会の挨拶では来年もという言葉も出ていましたが、これで令和一年度の行事は終了です。

出展者 写真の部

伊藤 達雄 ・ 井上 佐智子

園生 浩治 ・ 園田 晴美

高尾 友則 ・ 根本 光子

松岡 正明

川柳の部

伊藤 達雄 ・ 藤阪 美子

吹抜 安子

手芸の部

藤阪 美子 ・ 村上 孝江

絵画の部

石川 雅敏

## 新年度（令和2年度）市身連活動予定について

桜咲く春、4月を迎えて新年度という晴れ晴れしい時期となりましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で日本中いろいろの行事、会合、大会などが中止や延期となって普通の生活が出来ない困った状態となっています。我々の団体活動は以前から予定されていることが多く例年通りの活動日程が予定されています。今後コロナの流行の動きで予定通り出来ない面もありそうですが、とりあえず新年度計画を掲載しておきます。

特定非営利活動法人福山市身体障害者団体連合会				
2020(令和2)年度主要事業計画				
2020(R2)年4月1日～2021(R3)年3月31日				
月	日	行事	場所	備考
4		会計監査・三役会	市身連事務所	
	17	新年度第1回理事会	人権センター事務所	
5		新年度総会	人権センター	
	17	広島県障害者陸上大会	びんご運動公園	
		福山市相談員研修会	すこやかセンター	
		相談員協議会 総会	すこやかセンター	
6	3～4	日本障害者福祉大会ひろしま大会	広島市グリーンアリーナ	
7		ライオンズ招待ボウリング大会	福山パークレーン	
8		パラリンピック応援行事		
	8	中四国身障相談員研修会	徳島県	
10		ふれあい福祉まつり参加	ビッグローズまたは緑町	
	24～26	障害者スポーツ全国大会	鹿児島県	
	29	広島県身障福祉大会	三原市 ポポロ	
12		市身連スポーツ事業		
	23	広島県身障相談員研修会	広島市	
2021年				
2		市身連文化事業	人権センター	
3		理事会		

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧いただけます。